

子育て世代等も楽しめるサーフィンを活用したまちづくり ～ホノルル市と姉妹都市の海のない町の挑戦！～

<目標分野> ※該当するものに全て印

- ☑ ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ☑ ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ☑ ③ 自然と体を動かしてしま「楽しいまち」への転換

<目標内容>

人工サーフィン場を活用した持続可能な交流人口拡大・健康まちづくりの実現！

- ① 【交流人口の拡大】 交流人口：約70万人（令和元年）→ 約200万人（令和6年）
- ② 【移住定住の促進】 社会増減数：40人（令和元年）→ 300人（累積、令和2年～令和6年）
- ③ 【健康促進】 サーフィン施設延べ利用者数：16,675人（令和8年度）※施設は令和4年12月竣工予定



<PRポイント>

- ① 【東京2020五輪で初採用！】 ～ハード整備の充実～
今、注目が集まるサーフィン等の体験ができる、**オリンピックレガシー**を活かした**人工サーフィン場**を整備。
- ② 【幅広い方々が楽しめる！】 ～アウトター事業の推進～
東京からのアクセスも抜群！**初心者**からオリンピック選手などの**プロサーファー**まで幅広い方々が利用可能。
- ③ 【親子で楽しみ、健康促進！】 ～インナー事業の推進～
通年利用可能！波を止めた状態では、**水中ウォーキング**や**親子で楽しめるシュノーケリング**、また、**SUPヨガ**など日々の体力づくりにも活用可能。



<継続的な取組を確保できる体制（図）>

町・DMO・各施設の指定管理事業者が連携し
スポーツ大会や宿泊等の誘致等事業を推進



<概要> 計画期間：～令和8年3月31日（※施設は令和4年12月竣工予定）

<現状・課題>

- これまで「スポーツを核としたまちづくり」の一環として、**オリンピック基準のホッケー場**や**テニスコート**、**世界レベルのアーバンスポーツパーク**等を整備し、プロ・アマ問わず**本格的な施設**でスポーツを楽しみたいという、町内外の利用者を多く獲得してきた。
- 一方、境町が目指す**子育て世代の移住者等の獲得**に向けては、**親子で楽しみ**、更には**健康促進**にも繋がる**スポーツ施設が不足**している。
- 更なる、住んでよし・訪れてよしのまちづくりを進めるため、**東京駅-境町間の高速バス運行**や、**ハワイ州ホノルル市との姉妹都市協定**を結んでいる強みも活かし、政策を進めていく必要がある。

<総合的な取組内容>



【フォローアップ欄】令和5年度以降における計画の進捗状況

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：企画部地方創生課
- 地方スポーツ推進計画：なし
- 地方版総合戦略：第六次境町総合計画
- 地域スポーツコミッション：なし
- その他：境町まち・ひと・しごと創生総合戦略



第六次境町総合計画
(令和元年3月改訂)



境町まち・ひと・しごと創生総合戦略
(令和2年3月改訂)

【問合せ先・電話番号】

茨城県境町 企画部地方創生課 0280-81-1309